

30周年記念事業

市制施行三十周年を契機に、これまでの市の歩みを振り返り、未来に向けての「人づくり、まちづくり」を考えよう、市民の皆さんの積極的な参加を得、市民の翼やまほろば祭りなどの記念事業が行われました。

七月二十二日には大塚小学校を主会場に、夢とコマンの市民の祭典「土佐まほろば祭り」が開かれました。舞台での歌や踊り、ビンゴ大会、会場周辺の絵馬街道、そしてファイナレを飾った吾岡山からの二千三百発の打上花火。会場を訪れた人は二万人にも上り、ぜひ来年も続けてほしいという声も上がっています。



土佐のまほろば祭り



ひとづくり

ファイナル・イベントとして十月十五日に行われた「土佐日記船出まつり」。平安時代に土佐の国司として赴任してきた紀貫之が帰京するときの旅日記をしのび、平成の海に船出。

紀貫之や女官の乗る王朝船を中心にした十隻の船では和歌の即興も行われるなど、一千余年の昔へタイム・スリップ。海岸の釣り人も、突然の平安絵巻に驚いた様子でした。



土佐日記船出まつり



市民参加のもとで 今後につながる



市民の翼

二十一世紀は国際化の時代。真の国際化はまず互いの国との相互理解から。八月二十四日から四泊五日の日程で、百五十五人が韓国を親善訪問をした「市民の翼」。



岩沼市・南国市青年市民会議

まちづくり研究交流会



五月二十六日、記念事業のトップをきって、姉妹都市岩沼市と南国市の青年市民会議による「まちづくり研究交流会」が行われました。

互いの市が抱える問題点や夢を熱心に語り合ったメンバーは、その後の交歓会や視察の間につきり意見交換。今後幅広くつき合うことを約束するなど、新たな市民レベルでの姉妹都市交流のページが開かれました。

以上の記念事業のほか、自主参加事業として、農協訪問駅伝競争大会、高知県理容製菓士会、詩吟大会、文化祭、NHK「おかさの勉強室」公開録音、NHK「つるの散歩道」公開録音などを実施。

また、市の盛や市民の表情を鮮やかに記録した映画「南国市」と観光映画「土佐のまほろば南国市」の製作、市の今昔を伝える写真集「レトロ南国」、「南国市議会史」の発刊も行われるなど、これからの発展の基礎づくりの年となりました。